

2020年度

札幌日本大学中学校 入学選抜試験 【B日程（1月9日）】

総合学力（国語・社会）

試験時間 60分

1. 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
2. 答えは、解答用紙に記入してください。問題は、**1**～**3**まであります。
3. 試験監督の先生の指示に従って、試験を開始してください。
4. 試験の途中で、トイレに行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手をあげて試験監督の先生の指示を受けてください。
5. 試験開始の指示があってから、解答用紙に「受験番号」「氏名」を記入してください。
6. 解答用紙には、解答以外を記入しないでください。
7. 試験が早く終わっても、周囲を見回したり、横を向いたりしてはいけません。試験監督の先生から注意を受けることがあります。
8. 机の上には、筆記用具以外は置いてはいけません。風邪などにより、ティッシュペーパーを使用したい場合は、予め試験監督の先生に申し出てください。

- 1 次の文章は、河合隼雄^{かわ い はや お}さんが書いた『より道わき道散歩道』（創元社）「ボクの個人主義はこれや」の一部です。これを読んで、あとの問1・問2に答えなさい。

現在、国際舞台^{ふたい}で活躍^{かつやく}している若手の指揮者、佐渡裕^{さど ゆたか}さんと対談した。このとき私が強い衝撃^{しょうげき}を受けたのは、一人の日本人が「個人」として、しっかりと国際舞台に立っているという実感をもったことだった。しかも、それは長い伝統をもつ西洋の音楽の世界なのである。

①強い印象を受けたので、彼の著書『僕はいかにして指揮者になったのか』（はまの出版）を読んだ。そのなかに次のような言葉があった。彼はたとえばベートーヴェンの曲を揮^ふるとき、「ボクのベートーヴェンはこれや」というのを目ざすという。彼は日本のデビューのときにベートーヴェンの七番を指揮し、それによつてある賞を得たが、そのときの審査員^{しんさいん}であった有名な指揮者、山田一雄^{やまだ かずお}は彼に送った手紙のなかで、次のように言っている。

「僕は、君のベートーヴェンを聴^きいて悔^{くや}しかった。それは、僕の世代では演奏できないベートーヴェンでした。」山田一雄が「僕の世代では演奏できない」と言っているのは、彼の世代においては西洋は常に模範^{もはん}であり、「かくあるべし」というベートーヴェンが存在して、それにいかに迫^{せま}るかにひたすら努力を傾^{かたむ}けたのだ。したがって、「ボクのベートーヴェン」などは考えられもなかったのだ。ここで佐渡裕を評価した山田一雄はまことに素晴らしいと思うし、「悔しかった」という彼の想いもよく伝わってくるのである。

佐渡さんと対談し、著書も読んで非常に感激したので、私自身が②「ボクの××はこれや」と言えるものがあるだろうかと考えてみた。そして、思いついたのが頭書の言葉であった。しかし、これは私が今それをもっているという意味ではなく、このように言えるように今後努力していきたいと思っている、ということである。

佐渡さんの素晴らしいところは、「ボクのベートーヴェン」を引っ下げて国際的に活躍していることである。

（注） 揮る＝指揮すること。

ベートーヴェンの七番＝ドイツの作曲家ベートーヴェンが作った七番目の交響^{きやうぎやう}曲。

模範＝手本とするものこと。

頭書の言葉＝「ボクの個人主義はこれや」という言葉のこと。

問1 ①強い印象を受けた とあるが、筆者はなぜこのような印象を受けたのですか。書きなさい。

問2 ②「ボクの××はこれや」と言えるものがあるだろうかと考えてみた とあるが、あなたが「私の××はこれや」と言えるのはどのようなことですか。次の条件にしたがって書きなさい。

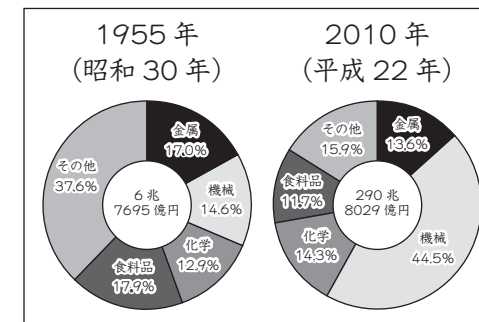
(条件)

- 二段落で書くこと。
- 第一段落には、あなたが考える「私の××はこれや」と言えることについて書くこと。
- 第二段落には、第一段落で示した自分の考えの理由を、身近な例をあげて書くこと。
- 180字以上200字以内にまとめて書くこと。

2 真一くんは、小学校の社会見学で自動車工場を訪れました。見学した自動車工場で、日本の工業についての説明を聞き、日本の工業の特色に興味をもちました。そこで、真一くんは、日本の工業生産額の割合の変化、工業生産額が同程度である2つの工業地域の工業生産額の割合について調べ、日本の工業生産と2つの工業地域の特色についてまとめることにしました。そして、真一くんは次の資料1・2を作成しました。

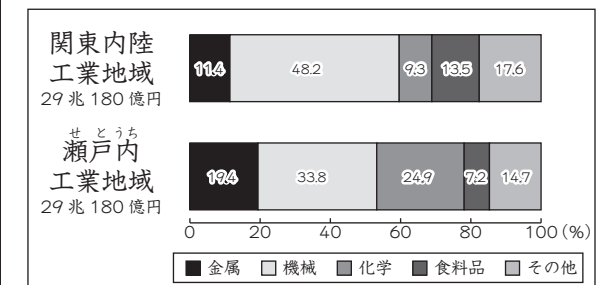
あなたが真一くんなら、資料1・2を用い、どのようなことをまとめますか。ただし、資料2については、運輸の働きと関連づけて書きなさい。

資料1 日本の工業生産額の割合の変化



(経済産業省ホームページをもとに作成。)

資料2 2つの工業地域の工業生産額の割合 (平成22年)



(「日本国勢図会」をもとに作成。)

3 ^{かずみ}和美さんは小学校5年生の図書委員をしています。図書委員会では、各学年で学年ごとの読書に関する課題を見つけ、その解決に向けた活動に取り組んでいます。

和美さんたち5年生の図書委員は、下の表のアンケート調査の結果から、「1か月の読書冊数は3年間で大きな変化がなく、読書冊数が3冊より少ない人が全体の中で約3分の1もいる。」ことが課題であると考え、5年生の目標を「図書室を積極的に利用し、全員が1か月で本を3冊以上読もう!」と設定しました。

そこで、和美さんは、この目標を達成するために図書委員会としてどのような活動をするのかを、次の委員会で提案することになりました。資料1は、1か月の読書冊数が「3冊より少ない」または「読んでいない」と回答した5年生に対して行った、読書に関する聞き取り調査の結果です。資料2は、5年生全員に行った読書に関するアンケート調査の結果です。

あなたが和美さんなら、資料1・2をもとに、どのような提案をしますか。
提案する^{げんこう}原稿を250字以内で書きなさい。

(1か月の読書冊数に関するアンケート調査の結果(5年生)) (資料1 読書に関する聞き取り調査の結果)

冊数\年	平成28年	平成29年	平成30年
読んでいない	8.8	9.3	9.5
3冊より少ない	25.0	25.3	24.3
3冊以上、6冊より少ない	28.6	28.0	29.7
6冊以上、11冊より少ない	18.8	20.0	17.6
11冊以上	18.8	17.3	18.9

(単位はすべて「%」)

- まんがは好きだが、文字だけの本が苦手だ。
- 長い文章を読むことがいやだ。
- どんな本を読めばよいかわからない。
- 読みたい本がない。
- 決まったシリーズの本しか読まない。

(資料2 読書に関する聞き取り調査の結果)

